

山梨県立 青洲高等学校



所在地 〒409-3601
西八代郡市川三郷町市川大門 1733-2

電話 055-272-1161

FAX 055-272-1164

URL <http://www.seishu.kai.ed.jp/>

E-mail info@seishu.kai.ed.jp

創立 令和2年(2020年)4月1日

課程 全日制

相次機関 JR身延線市川本町駅より徒歩10分

教員数 61名

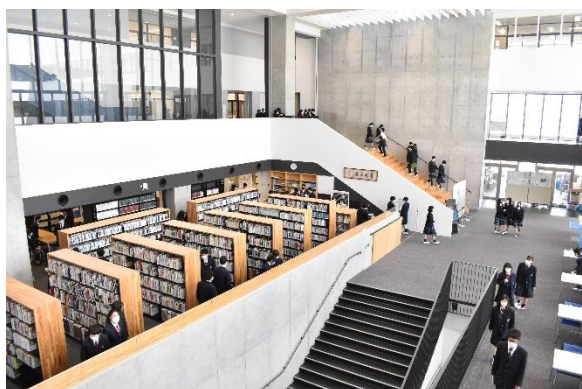
生徒数 (539名)

<単位制・総合制を活かした教育>

本校はJR身延線市川本町駅から徒歩10分、旧市川高等学校の隣接地に、令和2年4月に開校しました。普通科と工業科、商業科を併設した総合制高校です。大学や短大等への進学や公務員や企業等への就職等様々な進路目標を持つ多様な生徒が集まる学校です。単位制による少人数授業と充実した選択科目に加え、快適で明るく開放的な真新しい校舎や令和4年2月新築予定の体育館、県内屈指の広い校庭など恵まれた環境を用意されています。勉強と部活動の両立を目指して、積極的に学校生活を送って欲しいと思います。

これからの社会では複雑で答えのない課題に、多様な他者と協働して取り組み、解決していく力が求められます。例えば1年次では、青洲学において、学科を横断したグループ編成で、課題を設定して解決を目指す探究活動を行います。

複数あるPC室など充実したICT環境を授業や生徒の研究・発表に活用します。さらに、Microsoft Teamsや手帳型教材を使って学習・生活の記録や振り返りをポートフォリオとして蓄積し、必要に応じて確認しながら学びを深めるとともに、志願理由書の作成など新しい大学入試にも活かしていきます。



(アカデミック・スクエア)

学科名	1年		2年		3年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	59	78	57	79	-	-	116	157
工業科	54	6	56	2	-	-	110	8
商業科	21	54	14	59	-	-	35	113

<学科・クラス編成>

◎普通科(4クラス)

◇1年次は基礎学力向上が重点目標で、全員共通の科目を学習します。学習効率を高めるため、習熟度別の学級編成を行います。

◇2年次以降は進学から就職までの幅広い進路希望に対応したG類型、国公私立の4年制大学をめざすLS類型、英語教育を重視しつつ難関大学を目指す英語類型に分かれます。LS・英語類型では文系・理系という旧来の考え方を廃し、原則的に英数国を同じ単位数で配置して切磋琢磨します。

◇3年次には、工業・商業を含めた多種多様な選択科目を用意し、進路目標に合わせたより具体的な学びが可能となります。

◇単位制の利点を活かし、各年次でパート分けによる習熟度別や少人数での授業を充実させます。

◇進学指導を充実させつつ部活動も奨励し、生徒の全人的な発達を目標とします。

【英語類型の特色】

◇英語科のノウハウを継承し、国際的な視野の育成と実践的な英語力の養成を図りつつ、文系理系を問わず難関国立・私立大学への進学を目指します。

◇全員英検2級合格を目指すとともに、GTEC等の検定試験対応も充実させ、新大学入試にもいち早く対応していきます。

◇英語コミュニケーション力の向上を目指し、英語ワークショップや先輩の体験談を聞く会等の行事の他、ALTによる個人指導も充実させます。

◎工業科（機械工学科・土木工学科 各1クラス）

◇1年次は工業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。工業技術基礎では前期に機械系・土木系それぞれの実習内容を体験します。それを踏まえ、後期には機械工学・土木工学から学科を選択し、より深い内容を学習します。

◇2年次からは、機械工学科では機械設計や製図、土木工学科では測量や構造設計などそれぞれ専門的な内容を学習し、未来のプロフェッショナルを目指します。工業デザインやドローンなどの先端技術を学ぶ機会も設けています。

◇3年次には専門科目に加え、普通科や商業科で開設される科目を選択可能です。例えば工業系大学や専門学校進学希望者が、普通科の数学の授業を受講することも考えられます。

◎商業科（ビジネス探究科・ビジネス情報科 各1クラス）

◇1年次は商業を学習する上で必要な基礎的な科目を全員共通で履修します。簿記や情報処理の授業では基礎から丁寧に学習し、簿記検定2級・情報処理検定2級の全員取得を目指します。

◇2年次からは2学科に分かれます。ビジネス探究科ではマーケティングや商品開発などを通じ、将来の起業家となり得る人材の育成を目指します。また、ビジネス情報科ではプログラミングや情報ネットワークの知識を活用して、高度情報化社会で活躍できるビジネス人材の育成を目指します。

◇3年次には専門科目に加え、普通科や工業科の開設科目を選択可能です。例えば外資系への就職を目指して進学を希望する生徒が、普通科の英語の授業を受講することも考えられます。

＜部活動への対応＞

本校は「文武一道」を合い言葉に、勉強と部活動の両方に主体的に取り組むことを目標としています。生徒数は県下最大となる予定ですから、充実した部活動が可能です。市川高校・峽南高校・増徳商業高校の伝統を引き継ぎつつも、開校3年目となる来年度から青洲高校単独で部活動を行います。県高校総体、県芸術文化祭、双方で好成績を収められるよう切磋琢磨していきましょう。

学校として、野球・バスケットボール(男)・バレーボール(女)・音楽部を重点強化部と位置づけ、活性化を図っていきます。その他体育局では、陸上競技・バスケットボール(女)・サッカー(男)・ソフトテニス・バドミントン・硬式テニス・弓道・空手道・なぎなた・応援を設置しています。また、文化局には書道・美術・茶道・華道・吹奏楽・写真・ユネスコ・ESS・

家庭に加え、工業・商業の資格取得を目指す部も設置されています。

＜地域との交流＞

新設の校舎は、自然に交流が生まれるオープンな図書館を中核とする空間「アカデミック・スクエア」を中央に配した、明るく開放的な施設です。そこには、地域の防災拠点としての機能を担う狙いもあります。学校設定科目「峽南地域学」では、「防災・減災」と「地域の課題発見・解決」を2本柱として、探究的な活動を進めていきます。本校は「生み出すつながり、創り出すあした」をスローガンに、地域との交流やボランティア活動を重視し、「利他の心」を育てることを教育の柱としています。障害を持つ人との交流、手話通訳体験、幼稚園や介護福祉施設の訪問等、自分の知識や能力を他者のために活かす事を通して、喜びや生きがいを見出しながら、多くの人々との出会いやふれあいを楽しんでいきます。

＜進路目標達成への支援＞

生徒それぞれの進路目標達成を支援するため、本校教師による課外や学習会等が、定期試験前や長期休業中に実施されます。工業・商業関連の資格取得や検定試験に向けた特別講座も用意されます。

本校の大きな特長は、普通科・工業科・商業科それぞれの専門性の高い教員が多数いることです。例えば、大学の推薦入試は、志望理由書や面接、プレゼンテーションを重視する方向に向かっています。多分野の専門家がいる学校は、課題研究等の探究活動や、進路目標に合わせた具体的な個別指導に強い学校でもあります。進学・就職指導を含め早い時期から「全員指導体制」で進路実現を応援していきます。

進学指導では市川高校のノウハウを、就職指導では峽南高校・増徳商業高校のノウハウを継承・深化して、生徒の多様なニーズに応えていきます。

令和2年度の進路状況については、普通科は市川高校、工業科は峽南高校、商業科は増徳商業高校のスクールガイドを参考にしてください。



(登校風景)